

## 有給を合法的に取らせない方法 はあるのか？



まわりの友人によく言われることの一つが「(独立すると)自由でいいよね」です。確かに、「今日、出勤するかどうか」「何時に出勤して、何時に帰るか」は、自由に決めることができます。これらは会社にいたときにはできなかったことです。

ただ逆に、会社にいたときにできて今できないこともあります。それは「有給休暇を取ること」です。(もちろん、今も自由に休むことはできますが当然ながらお金は出ません) この「有給休暇」と言えば、経営者と社員で、とても意見が割れるところでもあります。

ほぼ24時間365日、会社や仕事のことを考えている経営者にとって「ゆっくり休みを取る」という有給休暇についてあまり良い印象を持っていない場合も結構あったりします。そこで、極端な場合「うちには有給休暇なんて無い」「有給の申請なんか受け取らない」と会社内で公言している経営者の人もいたりするのです。(もちろん、どちらも法律違反です。念のため) では、実際にそこまで極端では無いにしても、有給を取得しづらくなるような言い方をした場合はどうなるのでしょうか？それについて裁判があります。

ある塾運営会社で、その講師が、有給休暇の取得を妨害されたとして会社を訴えました。有給休暇を取得しようとしたところ上司などから次のように言われたというのです。

「そんなに休んで仕事がまわるなら、会社にとって必要ない人間じゃないのかと思われるよ」「そんなに仕事が足りないなら、仕事をあげるから、〇日に出社して仕事をしてくれ」そして、結局は有給申請を取り下げざるをえない状況になったというのです。では、この裁判はどうなったか？会社が負けました。「有給の取得を妨害したのは違法」と判断されたのです。いかがでしょうか？おそらくみなさんの中で管理職や経営者の人はこの会社側の考え方に共感される人のほうが多いかも知れません。ただ、実際にそれを言ってしまうと有給を取らせないとこの裁判のようになってしまうのです。

では、合法的に有給を取らせないためにはどうしたら良いか？これは、私も日頃よくいただくご相談内容です。答えは非常にシンプルで「そのような方法はありません(すいません汗)」とお答えしています。法律で取得が認められている以上は、法律違反をしない限りそれを阻止することはできないのです。

では、社員に好き放題に取らせるしか方法はないのかということでもありません。まず一つ目の方法として、日頃から社員とお互いの信頼関係

を築いた上でその取得の日を調整してもらうことです。「この忙しいときに有給取って！」という会社で、その社員からお話をお聞きすると、忙しいのを理解していないから取得しているというよりも会社に対する不満等から「会社が忙しくても自分には関係ない」という意識で取得している場合が多かったりします。

また、思い切って「有給取得を促進する」という方法もあります。事前に有給日を含めたスケジュールを組んでもらうのです。こうすれば社員も調整して取得するようになります。「人もいないし、忙しくてそれどころじゃない！」という大変さももちろんわかります。ただ、今後は、強制的に有給を取得させるような法律も成立しそうな様子もあります。

(有給の計画的付与ですね)

また、現在も求人サイトなどでは会社ごとの「有給取得率」が開示されていますが、今後は今まで以上にその傾向は進むでしょうから、取得率の低い会社は人を採用しづらくなると思います。「今日から」とか「来月から」とかすぐにはなくても良いのです。まずは「1日分から」でも良いのです。有給取得、すすめてみませんか？

※当コラムはわかりやすさを最優先していません。そのため法律の一部の例外は省略している場合があります。ご不明な点はご相談ください。

特定社会保険労務士 小林一石

### NEWS 外食業界 「時給」は増やし、「営業時間」は減らす

リクルートジョブズの発表によると、三大都市圏での「フード系」アルバイトの2月度平均時給は、2011年の調査開始以降最高となったそうです。また、24時間営業が当たり前だったガストやジョナサンなどは店舗の7割以上を原則午前2時閉店に変更。今後も人手確保の対策が増えそうです。

### NEWS 「夫が転職したら今の職場を辞めると思う」7割

「夫が転職したら今の職場を辞めると思う」と答えたのが正規雇用者で7割、役職つき女性でも6割半だそうです。夫が社外でも、転職の場合はその近くの拠点への転職を認めるような会社も出てきましたが、まだまだ転職というのはキャリアに影響を与えてしまうようですね。

### Bグルメ おくとね



新橋駅より直結ビル  
定休：土日祝

食ベログ  
3.58 ★★★

新橋駅と直結しているビルの地下にある「ただの立ち食い蕎麦屋」です。と、思ってたと思ったら「ただの」ではありませんでした。名物の舞茸天ぷらのこのサクサク感！普通にそこらのてんぷらやさんのように美味しかったです。良いお店を発見しました。